

平成28年度宮崎県病院薬剤師会中小病院委員会研修会のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

宮崎県病院薬剤師会中小病院委員会では、会員の皆様から、「平成37年を目途に構築が推進されている地域包括ケアシステムについては、その言葉を耳にする機会は多いものの、実際の内容が未だよく理解できない。」というご意見や、「一人、または少数の薬剤師が勤務している場合、疑問点を相談できる機会がない。」といったご意見を頂き、下記の研修会を開催することと致しました。

地域包括ケアにつきましては、宮崎県医療・介護連携推進室 主幹 甲斐慎一郎先生に特別講演を賜ります。また実際の業務上遭遇すると考えられる2点について、グループワークで意見交換をする予定です。たくさんの方のご出席を頂きます様、どうぞよろしくお願いたします。中小病院以外にご勤務の先生方も是非ご参加ください。

謹白

記

日時：平成29年2月19日（日曜日）

場所：J A・AZMホール 本館2階大研修室 宮崎市霧島1丁目1番地1

13:00～ 受付開始

13:25～13:30 会長あいさつ

13:30～14:10

地域医療の連携に関する会員発表

座長 けいめい記念病院 平田幸子先生

「急性期の病院より」

一般社団法人延岡市医師会 延岡市医師会病院 佐藤智加子先生

「単科の病院より」

医療法人ブレストピア ブレストピア宮崎病院 井上梨恵先生

「過疎地域の病院より」

日之影町国民健康保険病院 甲斐裕美先生

「精神科の病院より」

一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元病院 濱田竜一郎先生

14:10～14:20 休憩

14:20～15:20

特別講演

座長 延岡市医師会病院 佐藤智加子先生

『地域包括ケアの推進において薬剤師に期待すること』

宮崎県 医療・介護連携推進室

主幹（地域包括ケア推進） 甲斐慎一郎先生

15:20～16:40 グループワーク

I：持参薬が切れる時（院内採用品で対応できない場合等）や、自院に診療科がない疾患の薬物療法に意見を求められる場合等。

例）内科の病院で、精神科の処方継続できない時。精神科の病院で糖尿病治療の相談を受けた時等。

II：入院を契機に、服薬自己管理が不可能になり、退院後の薬物療法継続が問題となる場合。

※日本薬剤師研修センター単位1単位及び日病薬病院薬学認定研修単位1単位を申請しており、いずれかの単位を取得できます。

※参加費として500円を徴収させていただきます(会員外の方は1500円を申し受けます)。

※開始15分以降は受付を閉め切ります。

主催：宮崎県病院薬剤師会